

教育目標

☆学ぶ高千
☆心の高千
☆鍛える高千



高 千 中
た よ り

令和4年8月31日 第6号
佐渡市立高千中学校
全校生徒15名 男子7名 女子8名
TEL : 0259(77)2019 FAX : (61)5577
E-mail takachi-js@sado.ed.jp
URL http://takachi-js.sado.ed.jp/

「変わらないために変わり続ける」という哲学 part2

～#「New normalな日常」を過ごすために～

校長 上村 寿彦

いよいよ2学期がスタートしました。3年ぶりに行動制限のなかった夏休みでしたが、県内では連日3,000人を超える新型コロナウイルス感染に関する報道がありました。島内でも100人を超える感染者が発生し、感染拡大防止の観点からいくつかの大会等が中止となるなどしました。このような状況下ですが、私たちができることはこれからも①常時換気②三密の回避③手指消毒④規則正しい生活で免疫力を高め、発熱したら無理せず休養する 等しかありません。校内でも気を付けながら安全に生活していきたいと思えます。

2学期の始業式で「変わらないために変わり続けるパート2」として、以下のことを伝えました。

“We must change to remain the same.” 変わらずに生き残るためには、自ら変わらなければならない。

「この夏休みに『ざんねんないきもの事典』がリアルな世界になってアオーレ長岡にやってくる」というCMを見ました。「ざんねんないきもの事典」とは、生き物に少しでも興味と愛情をもっていただければと、あえて「ざんねん」という言葉を使って、あまり語られてこなかったいきものたちの”意外な一面”を紹介している本です。幅広い世代から人気があります。私もずっと気になっていました。



本の監修をつとめた今泉忠明さんは、あるインタビューで「人間という動物の“ざんねんな”ところを教えてください。」と聞かれ、以下のように答えています。

「ざんねんなところだらけですね。まず、転ぶことが多いです。他の動物では滅多に見ないですね。これは言うまでもなく二足歩行が原因で、追突されたときなどに転びやすくなっています。

それに、知能が発達しているといっても、人間はあえて悪いことから目を背ける場所がありますよね。例えば、温暖化対策とか。一説には人間が最も頭を使っていたのは、6000年前ぐらいだったそうですよ。今はその頃の発明や技術に依存して暮らしているようなものですね。せっかくの脳が生かされていなくてもいいのですが、それもまた人間の『ざんねんさ』だと思います」

地球上に現存している生物は長い時間をかけて進化、つまり変化して来たからこそ生き続けているのですが、その進化の仕方には「ざんねんなこと」もあるというのです。しかし、それを「進化の途中」と考えるのならば、失敗を恐れずどんどん変化していくべきだろうと考えます。まさに、「トライアンドエラーが大事」だと動物たちが教えてくれたように思います。ぜひ2学期もいろいろなことに果敢にチャレンジしてください。

【1学期末生徒会行事

【リアル人生ゲーム&振り返りビデオ】

7月21日(木)に生徒会主催のレクがありました。前半は体育館全体に「リアル人生ゲーム」盤を作成し、決められた課題をクリアしていくゲームを行いました。後半は1学期の出来事をビデオを観ながら振り返りました。

リアル人生ゲームは、抱え込みとびや腹筋などがありびっくりするほど疲れました。



【8月6日(土)佐渡博物館で、文弥人形を発表しました】



8月6日(土)佐渡博物館にて文弥人形を上演しました。当日は佐渡島内外たくさんの方々から鑑賞していただきました。見られた方の中には、わざわざ子どもたちに向けて激励のお手紙をくださった方もいました。

去年は結局文化祭のみの発表だけでした。今年は感染対策をとりながら、子どもたちの願いを元に、活動を継続していきたいと思ひます。